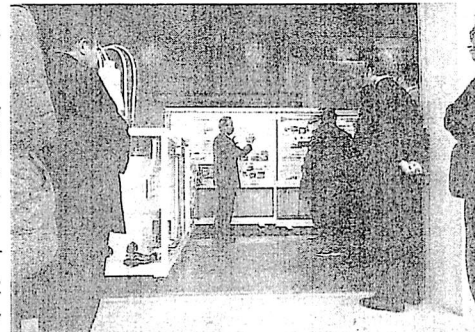


2016年（平成28年） 3月11日 金曜日

レアメタル資源再生技術研究会 モバイル実証装置見学 コンテナサイズで希土類回収

【各務原】レアメタル資源再生技術研究会は3日、岐阜県各務原市内でオープン合同分科会を開き、モバイル



見学会のようす

リサイクル用レアアース回収実証装置の見学会を開催した。参加者は、日本原子力機構などが中心となって開発したエマルションフロア法を用いた最新のレアアース回収装置を見学し、そのコンパクト

ネオジム磁石スクラップからネオジムとジスプロシウムを回収し、分離・精製を行う。同開発事業は2011年度から15年度の経済産業省及びNEDOの研究開発支援事業として実施された。

さと性能に高い関心を示した。展示した実証装置は、シーエムシー技術開発（河邊憲次社長）が実用化に向けて、開発を進めているもの。

今回は、ネオジム磁石スクラップから混合レアアースを回収する装置と、エマルションフロア法を用いた混合レアアースを分離、精製する装置を公開した。実証装置は2基とも、リサイクル機能を保ちながら20リットルコンテナで運べるサイズまでコンパクト化している。

河邊社長は「開発中のモバイルプラントは、リサイクル時の環境基準も日本の厳しい基準に適用できるように設計している。コンテナで運ぶことで、世界中どこでもリサイクルをすることが可能になる。現在は次の段階に向けた開発を進めているところだ」と語った。

おことわり 特金スクラップ相場表は11面に掲載します。